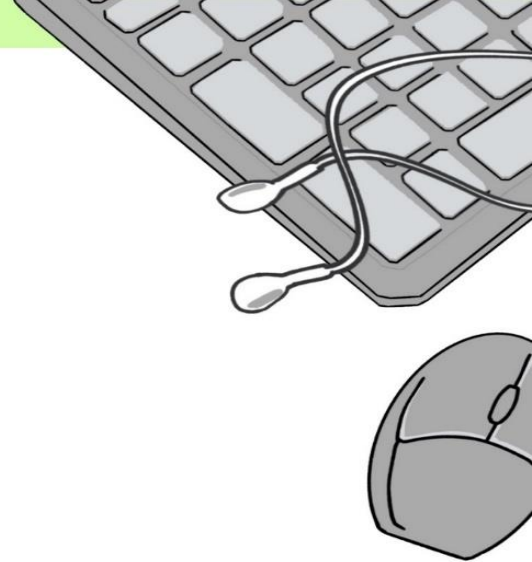


Amazon S3の概要



S3とは

- 👉 Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)
- 👉 非常に高い耐久性と可用性を持ったAWSのストレージサービス
- 👉 99.999999999%の耐久性 (9×11)
- 👉 保存容量は無制限
- 👉 保存したファイル（オブジェクト）にインターネットからアクセスが可能（デフォルトでは不可能）
- 👉 保存するファイル（オブジェクト）のバージョン管理が可能
- 👉 保存データの容量、データへのアクセス回数に応じて課金が発生



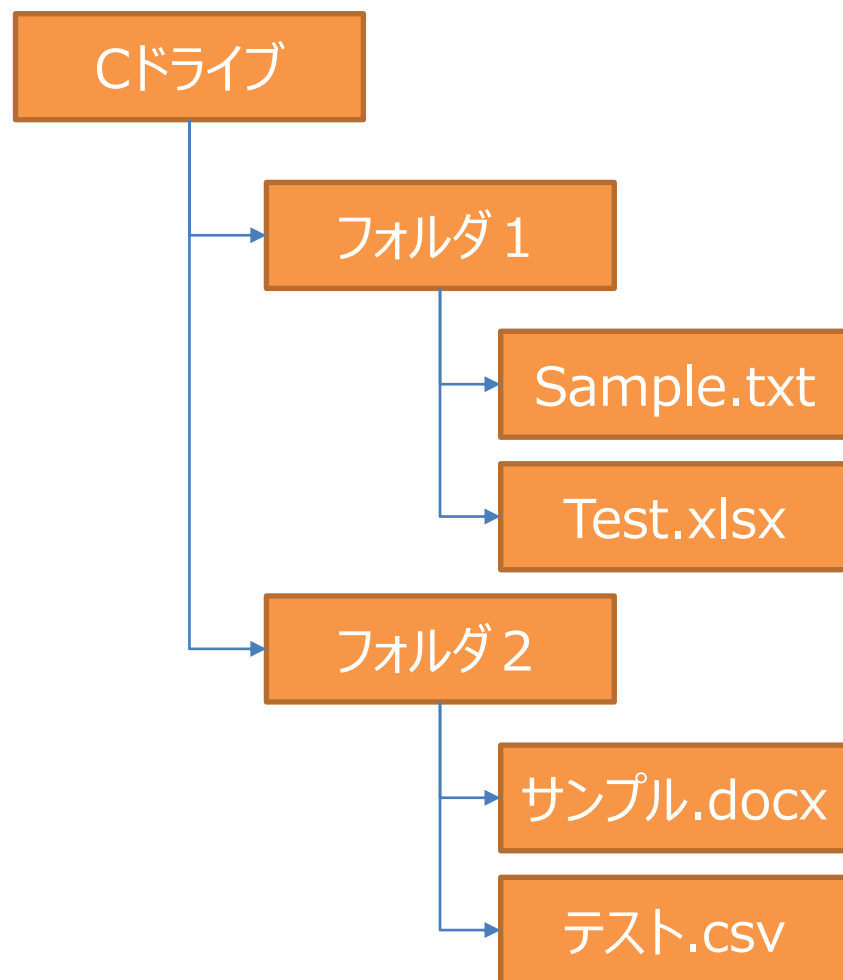
S3のストレージタイプ

ストレージタイプ	特徴
標準	標準のストレージ
標準 – IA	アクセス頻度の低い（1ヶ月に1回程度）データ向けのストレージ
Intelligent-Tiering	アクセスパターンが変化したり不明であるデータ向けのストレージ
1ゾーン – IA	アクセス頻度の低い（1ヶ月に1回程度）データ向けのストレージ データは1つのAZにのみ保存されるため、可用性は下がるが安価
Glacier Instant Retrieval	長期保存向けのストレージ アクセス頻度の低い（四半期に1回程度）データ向けのストレージ データの取り出しは瞬時に可能
Glacier Flexible Retrieval （旧 Glacier）	長期保存向けのストレージ アクセス頻度がかなり低い（1年に1回程度）データ向けのストレージ データの取り出しに数分から数時間かかる
Glacier Deep Archive	長期保存向けのストレージ アクセス頻度がとても低い（数年に1回程度）データ向けのストレージ データの取り出しに数時間かかる

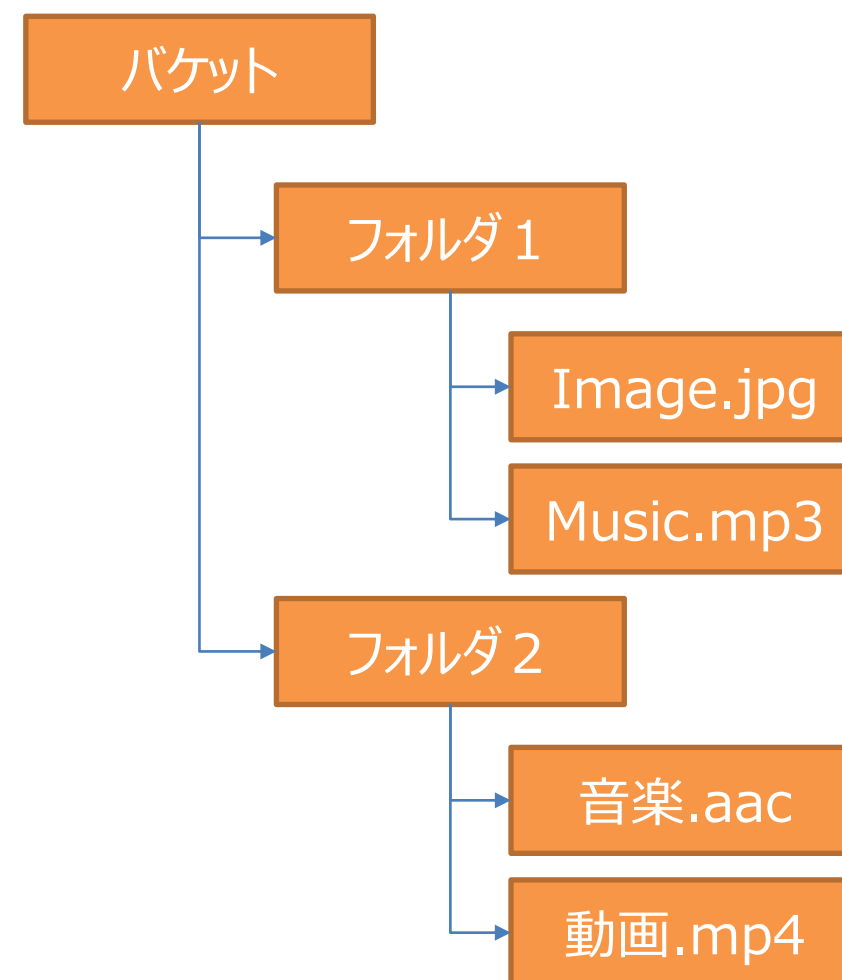


S3の構成

Windowsの場合

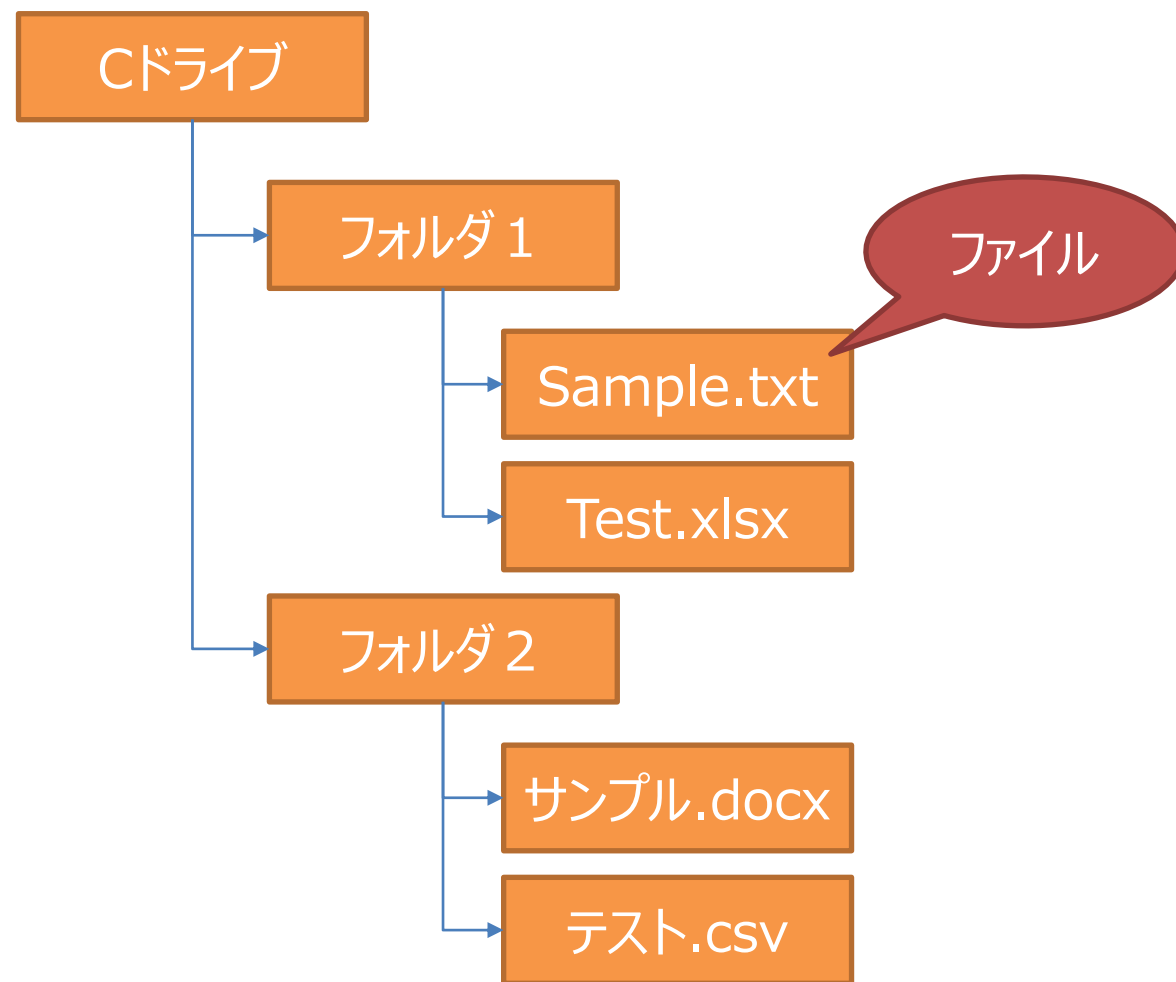


S3の場合

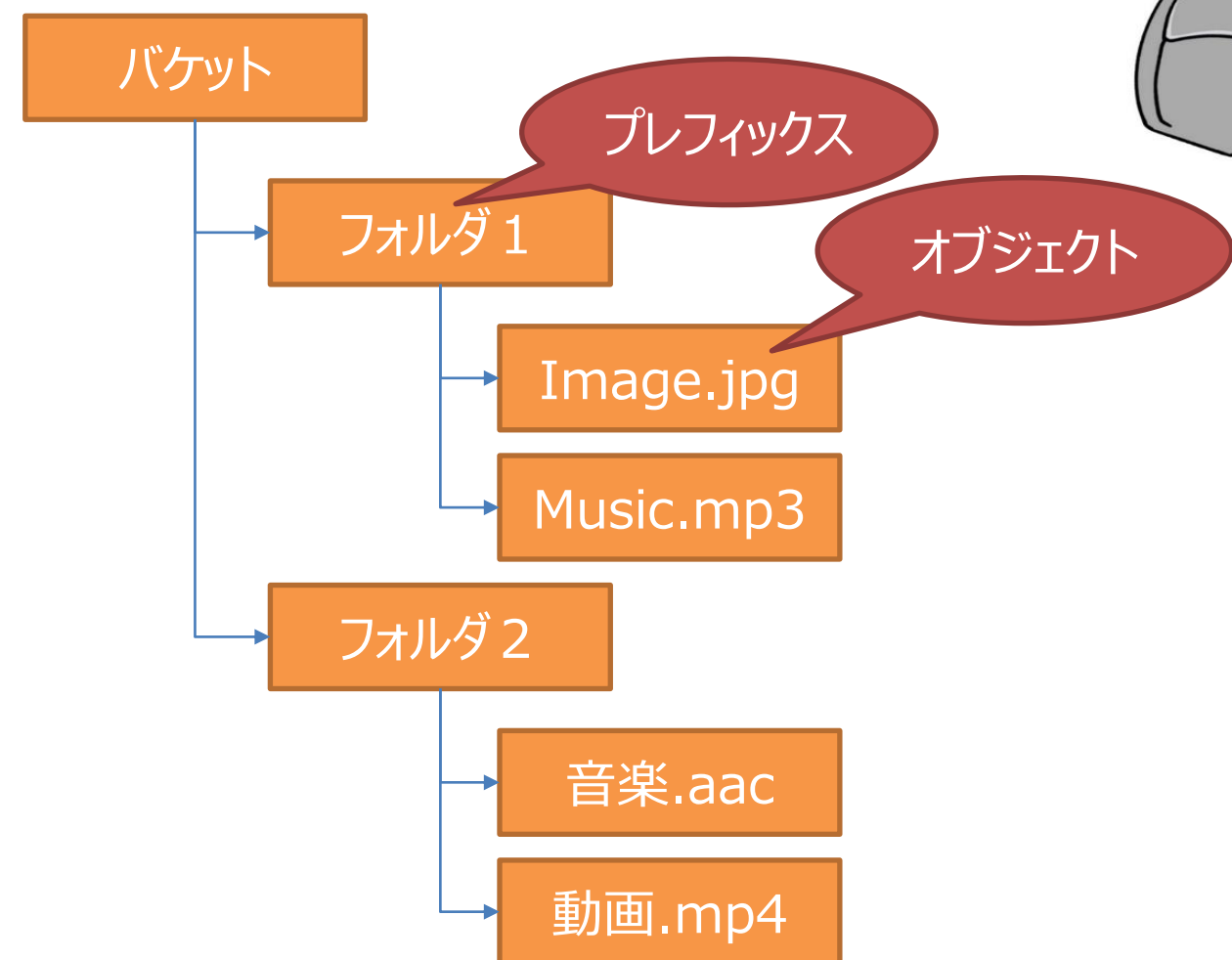


S3の構成

Windowsの場合



S3の場合



S3のセキュリティ

- 👉 S3では、以下の3つの機能を使用して、バケットやオブジェクトへのアクセスを管理することができる

名称	機能
アクセス制御リスト（ACL）	個々のオブジェクトに対するアクセス許可を設定するための機能
バケットポリシー	バケットに対するアクセス許可を設定するための機能
パブリックアクセス設定	バケットやオブジェクトに対して、パブリックアクセスを許可するかどうかを制御するための機能 パブリックアクセスを許可することで、インターネットにバケットやオブジェクトを公開することができる

オブジェクトのバージョン管理

- 👉 オブジェクトのバージョン管理の有効／無効を選択可能
- 👉 有効にした場合、誤ってオブジェクトを削除したり、誤ったデータを上書きしてしまった場合でも、過去のバージョンを復元することができる
- 👉 無効にした場合、誤ってオブジェクトを削除したり、誤ったデータを上書きしてしまった場合、元には戻せない
- 👉 便利な反面、バージョン毎にストレージコストもかかるので利用には注意が必要



ライフサイクル

- 👉 オブジェクトを自動的に他のストレージタイプに移動・削除するための仕組み
- 👉 長期間使用されなかったオブジェクトを削除したり、長期保存用ストレージに移動したりする設定が可能
- 👉 例：作成から1ヶ月が経過したオブジェクトをS3標準からS3 Glacier Flexible Retrievalに移動してコストを削減する
- 👉 バージョン管理が有効になっているバケットのみ設定可能



レプリケーション

- 👉 オブジェクトを自動的に他のバケットにコピーするための仕組み
- 👉 オブジェクトを他のリージョンのバケットにコピーすることにより、可用性と耐久性が向上したり、地理的な災害のリスクに備えることが可能
- 👉 異なるリージョンへのレプリケーション、同一リージョンへのレプリケーションのどちらかを設定可能
- 👉 バージョン管理が有効になっているバケットのみ設定可能
- 👉 レプリケーション先のストレージコストもかかるので利用には注意が必要



使用する
アクセスが

-

https://y-dobashi-test-20230222.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/index.html?response-content-disposition=inline&X-Amz-Security-Token=IQoJb3JpZ2luX2VjEDAAaDmFwLW5vcnRoZWZdC0xlkcwRQlgSug5AhUIP9MOXN9VOsCyFA22%2BnNPOjRxHZbaWmlj6nECIQDyc9KtOSXBoYB1PFFPE6BJISbWctSQmKMbmi6KKtzoKCqSAwjJ%2F%2F%2F%2F%2F%2F%2F%2F%2F%2F%2F8BEAAaDDg4NTEyNzg2OTQyNSIMc0WTniZOIQspUNA%2BKuYcmYkrsTeyA66eE3JdtoEZK85i%2BzNIJMy7ui9YY1TXCCuw6o5yHdaw6ziOz0DSxkJTSiCriNJdTnFIdss4mFdudO3KE6faHJaX2IPIsFg4tBZShaacub3F%2BSybbswaiuiHaLafL89lqLTRCgewDuzHesGd49RC15nLi%2Fd0DEBF%2BoyCrFZvamMGUoMUQRn40XpTAg%2BZzIXZrOr6M7Dp539oZJAPwTNwsCDpRYUYjXJizzurfdP%2Fuw7BbUJ2f30mOyW0MMZ%2BOrXz4%2BTyBm5JDHvWNh%2FbJrJbEvkf6B6hitCgZjwyuzkkORfL301mp4J5S84iDiygl%2BoWs12AqNZeozCBh3XhueoRNxtFtG2NmQgtT6OC2aQA1vHaBaOkuF1YYXiGjw0MhJQFVgAtIzJlAvTGGTvmBDFb88XkbSY2j8siq%2BlOWXIbpjQn2nJsJntQpb8y2aQdOT5Sxk%2Fp3cP0diMF5Ta2elnjCkvNWfBjqzArs1hEc%2FqVZEEXMvC4MD5YYjgkCm%2FaLui85n0z6Cydw1yyF%2BYQQtsfy8Nie%2BBY8ZDt3MidimR5tLdVxku8LosYPXFVyO47e2lvjn%2Bmq7cK0tQlifAGUxT4rwX1gvgh1sdD8B9PFM0i68uvYqh5p%2FmJLTp4hWH4YiF5mzjt46aL%2FW59Q3lfr1AENWXnlAYy7yOMFFoe5fJQkDP92gs0ab70QNF8b54iryzgb5eUjy3VEDiVotNR%2Fdhz%2FSlsgL2t3o62C0pOiGBbitcttp%2Ft4Fl4D8EcQSPoD9b7xL7gXcHoE8mJUAZIGAP3j4zCv%2B%2BtA60VhpZ%2B3q0YpiKdM0gm1WvE3gJmpHr6C6tVZ%2FfG6VFnIHJZ7KzExpc%2FPDI6zp%2BHF7V%2BrfULj1rf5xftXkPvQWJkYU%3D&X-Amz-Algorithm=AWS4-HMAC-SHA256&X-Amz-Date=20230222T001646Z&X-Amz-SignedHeaders=host&X-Amz-Expires=600&X-Amz-Credential=ASIA44FN3OPYMNXXKQOK%2F20230222%2Fap-northeast-1%2Fs3%2Faws4_request&X-Amz-Signature=f3a9f41782f46a3309514907a049f0eaa00f1ee52a169602d062a669a6796940

S3の料金体系

- 👉 保存したデータ容量に対して課金が発生
- 👉 保存したデータに対して行われたリクエストに対して課金が発生
- 👉 その他「AWS S3 料金」で検索（実際のページを見ながら解説）

